

かぜってなに？



かぜとは？

- ✓ 『かぜ症候群』とは鼻やのど、気道の粘膜にウイルスが悪さをして炎症を起こし、鼻づまり・鼻水・咳・のどの痛みや熱・頭痛・倦怠感・食欲不振などを起こす病気を指します。
- ✓ かぜの原因はさまざまなウイルス(ライノウイルス・パラインフルエンザウイルス・ヒトメタニューモウイルスなど)です。

かぜの治療

- ✓ ウイルスが原因ですので特效薬はありません。そのため、鼻水や咳、熱などに対してのお薬を使っていくかたちになります。
- ✓ 安静にして、食べられるものをしっかり食べて、自己免疫力を上げることが一番の治療になります。

鼻水やせきについて

- ✓ 鼻水やせきなどの症状は悪いものを体の外に出そうとする反応です。
- ✓ そのため、無理に止めることはせずに鼻水であれば出しやすくしてあげる薬(去痰薬)を中心に処方します。
- ✓ せきに関しては去痰薬にマイルドな咳止めの効果がありますのでまずはそちらで様子を見ます。せきがひどくて眠れないときや胸の音で空気の通り道が狭くなっている可能性があるときは空気の通り道を広げる薬(気管支拡張薬)を追加します。それでもひどい時には咳止め(鎮咳薬)を使いますが、実は子どもに使える鎮咳薬は限られています。
- ✓ 鼻水が奥でとどまっていると症状が治りづらく、中耳炎になるリスクも上がります。鼻をかめる子であればうながしてあげて、できない子は家で鼻吸引などを用いるといいでしょう。

どれくらい長引く？

- ✓ 鼻水やせきなどの症状は2週間から1カ月程度続くことがございます。長引くときは肺炎や中耳炎などになっていないか注意して診察をしていきます。肺炎や中耳炎などの場合は抗生剤が必要になることもあります。
- ✓ 「鼻水やせきが薬飲んでも変わらないし、病院行かなくていいや」といつても来なくなると気づいた時に肺炎や中耳炎になっていることもありますのでできる限りこまめに受診するようにお願いします。

Q1:かぜに抗生剤は必要？

A:不要です。上にも書きましたがかぜの原因はウイルスになります。インフルエンザなどは抗ウイルス薬がありますがその他のウイルスにはありません。そのため、自分で闘って治していきます。「念のため、抗生剤だしときますね。」という先生もいますが不要な抗生剤の使用は耐性菌(抗生剤が効かない細菌)を生み出すため当院では必要最低限の抗生剤使用に努めております。

Q2:市販の総合感冒薬は使っていい？

A:おすすめはしません。市販のお薬には少ないながら解熱・鎮痛剤が入っています。これらを安易に使ってしまうと熱の出方がわからなくなります。また、一部の総合感冒薬は乳児突然死症候群(SIDS)との関連が疑われる報告が出ております。そのため、市販の総合感冒薬はすぐ手に入り便利ではございますが子ども(特に6歳以下)には使用はおすすめしていません。

なにか気になることがありましたら遠慮なくおたずねください。

おぎそ小児科医院

